

■書 ■籍 ■紹 ■介

民主党政権の医療政策

二木 立 著

A5 判 208 頁 定価 2,520 円(税込) 勁草書房

2011 年 2 月 ISBN978-4-326-70070-7

2009 年秋の政権交代から 2010 年夏の民主党大敗まで、著者がリアルタイムに書き綴った“民主党の医療政策研究”を一挙掲載。民主党政権下ではこれ以上の医療政策の新たな展開は望めない、とする著者の根拠が歴史的事実とともに述べられ、「公平で効率的で良質な医療」のためには「医療者の自己改革」も必要と訴える。

医療費拡大の財源論やメディカルツーリズムへの期待と現実も詳細に分析した本書は、ねじれ国会で混沌

とする政治を冷静に見つめ直し今後の行方を判断する貴重な糧となるだろう。

〈おもな目次〉 第 1 章 政権交代と民主党の医療政策 / 第 2 章 民主党政権の医療政策の逐次的検証 / 第 3 章 民主党政権下の混合診療原則解禁論争 / 第 4 章 政権交代と今後のリハビリテーション医療 / 第 5 章 自公政権末期の医療改革提案批判 / 第 6 章 医療費抑制政策の検証と改革提言、川上武氏の業績

